

聖徳学園シリーズコンサート NO.1738

第35回 聖徳学園

第九の夕べ

ベートーヴェン

「レオノーレ」序曲 第2番 作品72a

交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱付」

指揮：山本 真
管弦楽：東京交響楽団
ソプラノ：西川 あや子
アルト：伊原 直子
テノール：小原 啓楼
バリトン：宮本 益光
合唱：聖徳学園“第九”合唱団
(合唱指導：春日 保人)
日本声楽家協会

2018年12/11(火)

PM 6:15開演

聖徳大学川並香順記念講堂

■主催：聖徳大学 ■入場整理券：¥1,000

■問い合わせ：聖徳大学教育支援課音楽支援グループ Tel.047-365-1111(代)

聖徳学園シリーズコンサート

(会場:聖徳大学川並香順記念講堂)

山本 真(指揮者)

1948年広島生まれ。14歳よりホルンを始める。
1966年東京芸術大学入学。ホルンを谷中甚作氏に師事。
1969年在学中に日本フィルハーモニー交響楽団に入団。
同年、東京芸術大学において安宅賞受賞。



1970年東京芸術大学卒業。
1973年日本フィルハーモニー交響楽団退団。同年、東京芸術大学管弦楽学部講師。
1974年NHK交響楽団入団。

1981年父・故山本正人指揮 東京吹奏楽団第35回定期演奏会を父が急病のため、代わりに指揮を務める。これをきっかけに吹奏楽の指揮者としての活動をはじめる。

1984年カラヤン指揮、ベルリンフィルハーモニー交響楽団東京公演参加。
1997年デュトワ指揮モントリオール交響楽団日本公演全5回参加。FMリサイタル、テレビリサイタルに出演する等、ホルン奏者として活躍する傍ら、父の後を継いで、父が初めて日本に作った吹奏楽バンド「聖徳レディースウインドオーケストラ」の指揮をする。

2004年3月不動の2ndホルンとして30年在籍したNHK交響楽団を退団。現在、聖徳大学音楽学部演奏学科教授。武蔵野音楽大学講師として後進の指導にあっている。他、近年では、多摩ウインドオーケストラ、日本各地の吹奏楽バンドを指導、指揮するなど、指揮者としての活動にも大いに力を尽くしている。2005年～2017年聖徳大学シリーズコンサート「第九の夕べ」指揮。

国際ホルン協会会員。日本ホルン協会会員。

西川 あや子(ソプラノ)

名古屋出身。愛知県立明和高等学校音楽科卒業。
東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。二期会オペラスタジオオマスタークラス、日本声楽家協会研究員修了。



オペラでは文化庁人材育成支援事業オペラ公演「修道女アンジェリカ」にてタイトルロールデビュー後、「蝶々夫人」タイトルロール、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィラなどを演じている。その他、モーツァルト「ミサ・プレヴィス」、ベートーヴェン「第九」交響曲などのソロ、ソロリサイタルなど様々なコンサートに出演。

現在、二期会会員、日本声楽アカデミー会員、聖徳大学音楽学部演奏学科講師、日本声楽家協会講師。

伊原 直子(アルト)

東京芸術大学及び同大学院修了。69年「ラインの黄金」でオペラデビュー。安宅賞、芸術選奨文部大臣新人賞、外国人批評家賞、ジローオペラ大賞受賞。ミュンヘン音楽大学に政府給費生として留学。ドイツ、スイスでコンサート活動。75年ストラスブール歌劇場専属歌手となる。リヨン、ブリュッセル、カールスルーエ歌劇場客演。「カルメン」「オルフェオ」「アイダ」「トロヴァトーレ」等オペラ出演。コンサートではポスト交響楽団、N響、読響等国内外で活躍。



聖徳大学音楽学部演奏学科教授、東京芸術大学名誉教授。二期会幹事、日本声楽アカデミー会員。日本演奏連盟常任理事。

小原 啓楼(テノール)

東京芸術大学卒業。卒業時に松田シ賞受賞。同大学院博士課程修了、博士号取得。これまで二期会「蝶々夫人」ピンカートン、新国立劇場「夕鶴」与ひょう等で好評を博し、中でも新国立劇場「沈黙」の主演ロドリゴは迫真の演唱が絶賛され、再演にも出演。他にもロームシアター京都オープニング公演「フィデリオ」フロレスタン、二期会「ローエングリン」タイトルロールなど重厚な役でも高い評価を得、歌唱の幅を広げている。コンサートでも「第九」をはじめ「大地の歌」「戦争レクイエム」等で好評を博しており、古典から近現代の作品に至るまで多岐にわたり活躍。日本声楽アカデミー会員。二期会会員。聖徳大学音楽学部演奏学科講師。



宮本 益光(バリトン)

東京芸術大学博士課程修了。学術博士。二期会会員。1994年「メサイア」のソリストとしてデビュー。オペラでは「欲望という名の電車」(日本初演)の好演で一躍脚光を浴び、二期会デビューとなった宮本亜門演出「ドン・ジョヴァンニ」では新時代のドン・ジョヴァンニ像を演じ絶賛された。「カルミナ・ブрана」「第九」「口短調ミサ」「レクイエム」などのソリストとして活躍。オペラの日本語訳詞創作をライフワークとし、特に日生劇場「利口な女狐の物語」、大阪いずみホール「カルメル会修道女の対話」では高い評価を得た。その他にも音楽雑誌への寄稿、新聞紙上での書評など文筆活動もこなす多才ぶりを発揮。聖徳大学音楽学部演奏学科客員准教授。

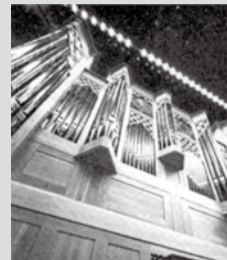


聖徳大学川並香順記念講堂



聖徳大学川並香順記念講堂は、創立者の川並香順・孝子両先生を記念して昭和55年11月に建設されたものです。

最高度の音響・照明機能・舞台機構を備えた約1,400名収容のホールで、クラシック音楽を中心とした多目的かつ技術的に高度な利用ができるよう設計されています。さらにオランダ・フレントロップ社製のパイプオルガン(56ストップ)が舞台中央の奥にあり、演奏目的に応じて前後に移動できる、世界でも大変珍しい機構をもっています。また特筆すべきことは、美術家であり聖徳大学短期大学教授であった故利根山光人先生と、彫刻家の多田美波先生が講堂各所の壁画、緞帳、照明器具・シャンデリア等のデザイン・制作をしたことです。なお2面の緞帳は、昭和56年度の吉田五十八賞(建設関連部門)を受賞した作品です。



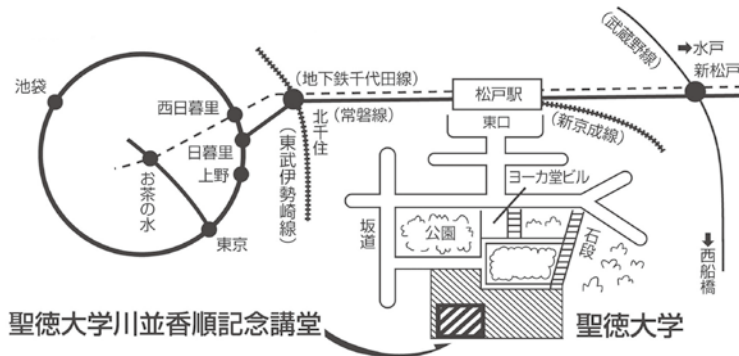
会場案内

～松戸駅東口より徒歩5分～

交通案内

一松戸駅には一

- ・JR常磐線「上野駅」から約20分
- ・千代田線「西日暮里駅」から19分
- ・京成バス「市川駅」から約35分
- ・新京成線「津田沼駅」から50分



お問い合わせ：聖徳大学教育支援課音楽支援グループ ☎047(365)1111(代)